10月 26 日　全校朝会のお話

　今日は校庭で全校朝会を行う予定でしたが、雨のためいつもと同じように体育館で行っています。



　さて、先週は「スポーツの秋」についてお話をしましたが、今週も秋に関係することについてお話をします。皆さんは道路や公園で、このような扇の形をした葉っぱを見たことがありますか？これはイチョウの葉です。この後、さらに秋が深まるとイチョウの葉は、緑からきれいな黄色に変わります。葉が落ちると、地面がいっぱいの黄色い絨毯(じゅうたん)になります。秋の終わりに見ることができる、素敵な風景です。今日はイチョウについてお話をします。

　イチョウの秘密1　イチョウは恐竜の時代から生きている！

　イチョウは、なんと約 2 億年以上前、恐竜がいた時代から地球にある植物だそうです。多くの植物が絶滅する中で、イチョウだけは形を変えずに生き残ってきたため、学者からは「生きている化石」と呼ばれているそうです。

　イチョウの秘密2　「氷」や「火」にとても強い！

　大昔の氷河期という地球がすごく寒くなった時代を生き抜いた、強い生命力を持っています。また、葉っぱや木の幹に水分をたっぷり含んでいるため、火事になっても燃えにくいという特徴があります。昔から「街を火事から守る壁」として、お寺や道路の脇にたくさん植えられてきたそうです。

　イチョウの秘密3　イチョウの種「銀杏(ぎんなん)」

　秋になると、イチョウの種である「ぎんなん」が落ちます。ちょっと匂いはしますよね。どうしてあの匂いを出すのか調べてみると、いろいろな考えがありました。「他の動物に食べられないように自分を守るための工夫」とか、「特定の動物はあの匂いが美味しそうと感じるようで、食べて排泄してもらって種を遠くに広めるため」だそうです。
　ちなみに銀杏は秋の味覚として大人には人気があります。茶碗蒸しという食べ物に入っていることもあります。

　ぜひ、外に出たときに、イチョウの黄色い葉、黄色い絨毯から秋の深まりを感じてください。
　校長先生のお話を終わります。